

# 海外英語演習

ナンバリング:N1-L3-Z35

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1・2・3・4	区分/単位数	演習/2単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業においては、日常会話に役立つ表現や文法事項などをテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティーに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。

外国での生活から得た経験を通して豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解し、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことが望ましい。

## ・教育成果(アウトカム)

本演習は教養教育に求められる豊かな人間性を涵養する一環として実施される。

- 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を理解でき、幅広い視点から人および物事を見ることができる。
- 英語演習を通じて日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のためのコミュニケーション能力を育成できる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
9	変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

## ・到達目標(SBO)

- (1)異文化を理解し、現地の人と英語で意思疎通を図ることができる。
- (2)教室では間違いをおそれず積極的に発言することができる。
- (3)日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。
- (4)英語圏の文化・歴史・価値観・医療に触れることで、医療者に求められる豊かな人間性と柔軟な思考力を身につけることができる。

## ・成績評価方法

【総括評価】 研修レポート: 30%、演習態度: 70%

【形成的評価】 研修内容に関する質疑応答により、異文化に対する理解度評価を行う。

\*本科目の演習態度とは、主に、授業、イベントへの参加、各国の人たちとの積極的な交流、英語での積極的な発言、自主的行動、外国での問題解決能力等を指す。

\*演習態度の具体的な評価方法については「参加者募集説明会」および「参加者対象説明会」で説明する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、9	1、4						①30	30
1、3、9	1、2、3、4						②70	70
合計		0	0	0	0	0	100	100

〈備考〉その他の①研修レポート、②演習態度

## ・特記事項・その他

研修先: 英語圏の国(例: イギリス・オーストラリア等)

期間: 3月の予定

宿泊施設: ホームステイ等

研修内容を把握し渡航に向けて準備するため、参加希望者は「参加者対象説明会」および「最終説明会」(各1時間程度)に出席する必要がある。なお、提出レポート(感想文)は、後日、個別にフィードバックする。

当該科目に関連する実務経験の有無 無